

● 地元紙の記事掲載実績

GoToイートプレミアム食事券

岡山県内あす発売

新型コロナウイルスの感染拡大で打撃を受けている飲食業界への国の支援策「GoToイート」で、岡山県内の飲食店に使えるプレミアム付き食事券の販売が21日から始まる。事業に登録した飲食店で同日から利用できる。

食事券はスーパーやJAの支店など県内計284カ所、1月26日まで販売。1冊1万2500円分（500円券25枚セット）を1万円で購入できる。

80万冊を発行する予定。1冊当たり1人1冊だが、何回でも購入が可能。利用できる飲食店は約100店舗で、さらに登録を募っている。利用期限は来年3月末。

販売店や登録店はウェブサイトで「GoToイート」キャンペーン in 岡山県」で確認できる。問い合わせは専用のコールセンター（0570-0521012、平日午前9時～午後5時）。（鈴木省吾）

山陽新聞2020.10.20

GOTOイートプレミアム食事券

岡山県内でスタート

販売店に列、売り切れも

新型コロナウイルスの影響で売り上げが落ち込んでいる飲食業界への国の支援策「GoToイート」で、購入額の25%を上乗せするプレミアム付き食事券の事業が21日、岡山県内で始まった。百貨店やスーパーなど284カ所での販売がスタート。事業に登録した飲食店約100店舗で、来年3月末まで利用できる。

岡山商工会議所（岡厚生町）でも同時刻から販売を開始。午後1時までに用意していた400冊が売り切れは想定しておらず、仕入れが少なかった順に次補充して対応する」と同会所所長。

岡山商工会議所（岡厚生町）でも同時刻から販売を開始。午後1時までに用意していた400冊が売り切れは想定しておらず、仕入れが少なかった順に次補充して対応する」と同会所所長。

岡山商工会議所（岡厚生町）でも同時刻から販売を開始。午後1時までに用意していた400冊が売り切れは想定しておらず、仕入れが少なかった順に次補充して対応する」と同会所所長。

山陽新聞2020.10.22

GOTOイート食事券

岡山で販売再開

利用期限は6月末まで

新型コロナウイルスの感染拡大で打撃を受けている飲食店への国の支援策「GoToイート」で、岡山県内の飲食店に使えるプレミアム付き食事券の販売が21日から始まる。事業に登録した飲食店で同日から利用できる。

岡山商工会議所（岡厚生町）でも同時刻から販売を開始。午後1時までに用意していた400冊が売り切れは想定しておらず、仕入れが少なかった順に次補充して対応する」と同会所所長。

新型コロナウイルスの感染拡大で打撃を受けている飲食店への国の支援策「GoToイート」で、岡山県内の飲食店に使えるプレミアム付き食事券の販売が21日から始まる。事業に登録した飲食店で同日から利用できる。

岡山商工会議所（岡厚生町）でも同時刻から販売を開始。午後1時までに用意していた400冊が売り切れは想定しておらず、仕入れが少なかった順に次補充して対応する」と同会所所長。

山陽新聞2021.03.09

● 地元紙の記事掲載実績

イート追加販売延期

10週ぶりコロナ週100人超

伊原木隆太知事は9日、臨時会見を開き、15日から予定していた「Go To イート」のプレミアム付き食事券の追加販売を当面延期すると発表した。県内で新型コロナウイルスの感染状況が悪化しているため、事業主体の国に要望して了承を得た。直近1週間（1～7日）の新規感染者は100人を上回り、今年1月の第4週以来、10週ぶりに3桁となった。

食事券は、コロナ禍 県内や近隣県の状況に 人からほぼ倍増した。で打撃を受けている飲食店を支援する国の事業。県内では昨年10月に発売した第1弾の80万セットが発売となり、プレミアム率を従来の25%から20%に引き下げ75万セットが発売される計画だった。

会見で知事は「ようやく経済を回せるようになってきたが、見合わせるのが適当と判断した。ギアを緩やかに回す必要がある」と述べた。

伊原知事は9日、臨時会見を開き、15日から予定していた「Go To イート」のプレミアム付き食事券の追加販売を当面延期すると発表した。県内で新型コロナウイルスの感染状況が悪化しているため、事業主体の国に要望して了承を得た。直近1週間（1～7日）の新規感染者は100人を上回り、今年1月の第4週以来、10週ぶりに3桁となった。



項目	現状 (4月1-7日)	前週 (3月28-31日)
病床使用率	19.4%	11.4%
重症者使用率	7.0%	7.0%
10万人当たり療養者	8.78人	4.34人
PCR陽性率	4.0%	2.4%
10万人当たり週別感染者との比較	5.87人	3.07人
感染経路不明割合	53人増	13人増
不明割合	47.7%	46.6%

に迫る47.7%。政府の対策分科会が示す指標7項目のうち、6項目が前週から悪化した。 (洞井宏太)

知事は「感染流行地域で飲食した人が家庭や職場で広げていると推測される事例が多い。思ったより早く次の波が来つつある」との認識を示し、県民に会食やカラオケ、関西圏などへの不要不急の往来を自粛するよう求めた。

山陽新聞2021.04.10

Go To 食事券追加販売 21日から

新型コロナウイルスで打撃を受ける飲食店への国の支援策「Go To イート」食事券について、岡備ホールディングス（岡山市北区錦町）などの共同事業体は1日、感染状況の悪化で延期していた追加販売を21日から始めると発表した。使用期限は販売済みの分を含め、11月末まで2カ月間延長する。

プレミアム率を従来の25%から20%に引き下げ、75万冊発行する。500円券

食事は昨年10月に発売した80万冊が発売となり、追加販売は当初、今年4月に予定されていた。問い合わせはコールセンター（0570-0521012、平日午前9時～午後5時）。（鈴木省吾）

山陽新聞2021.07.02

Go To イート

食事券利用期限 9月末まで延長

岡山県内

新型コロナウイルスで打撃を受ける飲食店への国の支援策「Go To イート」事業で、岡備ホールディングス（HD）、岡山市北区錦町）などの共同事業体は28日、岡山県内のプレミアム付き食事券の利用期限を9月末まで3カ月間再延長すると発表した。

緊急事態宣言などを呼び掛けている状況が続いているため、当初期限は3月末だが、6月末まで延長している。（鈴木省吾）

水島ガスなど 地場3社値下げ 7月検針分 岡山掘え置き

地場都市ガス4社は28日、原料費調整制度に基づく7月検針分の料金を発表した。岡山ガス（岡山市）が掘え置き、水島ガス（倉敷市）、津山ガス（津山市）、福山ガス（福山市）は原料の液化天然ガス（LNG）などの価格低下を反映し、6カ月ぶりの値下げとなった。標準家庭の月額料金は

山陽新聞2021.05.29

● 地元紙の記事掲載実績

食事券は追加販売 11月末まで

新型コロナウイルス（北区内）では、開店0円券2枚セット（1で打撃を受ける飲食店）直後から売り場に行万2千円相当）が1への国の支援策「Go To イート」事業が、希望者が次々に買いた求めた。主で、感染状況の悪化に「珠と食事に出掛けた内でのプレミアム付き」同市中区東山は「1日2冊まで購入可食事券の追加販売が21日、百貨店やスーパー」食店を少しでも応援な約180カ所が始まった。事業に登録してはいる飲食店約4千店で11月末まで利用できる。

岡山高島屋（岡山市）冊を発行する。50

岡山高島屋（岡山市）冊を発行する。50

山陽新聞2021.07.22

Go To 食事券 30万冊販売再開

岡山県内、1月末まで利用可

新型コロナウイルスで打撃を受ける飲食店への国の支援策「Go To イート」事業が、感染も落ち着いて、プレミアム付き食事券の販売が25日、再びありがたい」と話して岡山県内約1万60カ所。食事券はプレミアムで再開した。1人当たり2冊、1冊1万2千円相当（500円券24枚セット）を1万円で購入できる。12月20日まで約30万冊を販売し、なくなり次第終了する。

岡山高島屋（岡山市）冊を発行する。50

山陽新聞2021.11.26

岡山県は5日、新型コロナウイルス感染症の対策本部会議を開き、流行「第5波」で県内の感染者が増えているとして、飲食店への支援策「Go To イート」など各種経済対策の新規販売を一時的に停止することを決めた。感染状況の判断は切迫度が2番目に高い「ステージ3（感染急増）」に引き上げ、県民への協力要請に夜間の外出自粛などを追加した。（24面に関連記事）

「イト」券など販売一時停止決定

●岡山県が新規販売を一時停止する各種経済対策

事業名	停止期間	備考
Go To イート	11日～	感染状況が落ち着けば再開。停止期間は既に購入した食事券も利用自粛を求める
おかやま旅応援割	6～31日	予約済みの宿泊や旅行は22日まで割引を適用。以降の予約でキャンセル料が生じる場合は県が負担
プレミアム付き交通券	6～31日	購入済みの交通券は停止期間も利用可能

岡山県は5日、新型コロナウイルス感染症の対策本部会議を開き、流行「第5波」で県内の感染者が増えているとして、飲食店への支援策「Go To イート」など各種経済対策の新規販売を一時的に停止することを決めた。感染状況の判断は切迫度が2番目に高い「ステージ3（感染急増）」に引き上げ、県民への協力要請に夜間の外出自粛などを追加した。（24面に関連記事）

夜の外出自粛

感染力の強いインド由来の変異株「デルタ株」の広がりがもたらした対応。緊急事態宣言に準じた「まん延防止等重点措置」の適用の適用申請については、現時点では見送ることとした。

一時停止するのはイト事業のほか、県民が県内の宿泊施設を利用する際に料金を割り引くクーポン事業「おかやま旅応援割」、路線バスやタクシーで利用できるプレミアム付き交通券。それぞれ7月5日以降に順次開始していた。

イト事業は11日から感染状況が落ち着くまで販売を停止し、既に購入した食事券も利用自粛を求める。旅応援割と交通券の停止期間は6、31日。予約済みの宿泊や旅行は22日まで割引を適用する。以降の予約でキャンセル料が生じる場合は県が負担する。交通券は停止期間中も利用可能。県民に対しても感染状況次第で停止期間延長の可能性があるとされている。

山陽新聞2021.08.06

● Go To Eat事業を終えて

■ 総論

岡山県内のGo To Eatキャンペーン対象店約6,300店のうち、4,118店が取扱店（加盟店）として事業に参画いただきました。また、既存券と追加券を合わせて155万冊を発行したところ、150万冊の販売実績となりました。

本事業の直接効果金額は食事券販売金額と国の給付金額を合わせると、約183億円となり、岡山県の全世帯の一年間の外食費の約17.5%を占める大きさとなりました。

新型コロナウイルス感染症の拡大により甚大な影響を受けながらも、感染予防対策に取り組みながら頑張っている飲食店の応援及び間接的に食材を供給する農林漁業者の応援に十分な効果があったと考えます。事業終了後も、Go To Eatキャンペーンの再実施を望む声が多いことから、未換金の余剰金を活用した事業を計画しています。

■ 事業効果の観点

岡山県においては、地域事業者であるところの両備ホールディングス(株)（代表者）と(株)ビザビ（構成員）が共同事業体として受託事業者となり、両者が持つ経営資源やノウハウを有効活用しました。また、域内の各種団体（岡山県内商工会議所、商工会、民間事業者、金融機関、JA岡山・JA晴れの国岡山）と実行委員会を形成する等、緊密な連携によりシナジーを高めるとともに、県内の地公体への情報提供を積極的に行う等の取り組みが奏功し、「オール岡山でGo To Eatキャンペーンを成功させよう」という機運醸成につながり、対象飲食店および県民等への周知、加盟・利用促進につながったと考えます。

■ 地域活性化の副次的効果

事業運営では、岡山県内企業との連携を積極的に行ったことで、域内の経済波及を推進しました。日ごろから県内で事業・経済活動を行っている地場企業共同事業体による働きかけであるからこそ、各企業と連携した有効な事業推進が実現できたと考えます。

事業費の内、共同事業体以外の地場企業への事業費支出額は663,000千円となりました。

■ 食事券発行形態の観点

岡山県では、すべての年齢層の生活者が平等に利活用できることを第一義とし、食事券をすべて食事券冊子として発行し、券面額もランチなどでの使いやすさの視点から、1枚500円のみとしました。

購入にあっては、購入対象者を限定せず（県外居住者であっても購入可）、また、事前の申し込みや購入者抽選を行わなかったことにより、「利用しやすさ、購入しやすさ」が奏功し、幅広い年齢層に指示され、販売数を支えたと考えられます。

課題としては、券面額500円としたために、物量が多くなり、換金処理での計数スキニング・偽造券の確認等において、処理の負荷が高くなりました。本課題解決のためには、電子化等の先進的な手法を含め、費用対効果面と利用者の利便性面を合わせて、慎重に検討する必要があると考えます。

■ 新型コロナウイルス感染症の拡大期における対応について

事業期間中に緊急事態宣言やまん延防止措置が頻繁に行われ、販売の停止や利用自粛の呼びかけを行う必要がありましたが、感染拡大状況を事業推進リスクとして想定しており、県民へのアナウンス・資材の活用・マスクとの連携等を迅速かつ的確に実施することができました。

■ 未換金余剰金の処理

事業終了後も、Go To Eatキャンペーンの再実施を望む声が多いこと、本余剰金の出自は地域生活者の購入代金であることから、未換金の余剰金を活用し、食事券発行事業を計画しています。

